

## 2015年度第5回 NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日 時：2015年12月14日（月） 午後6時30分から
- 2 場 所：立川市女性総合センターAIM 5階 第1会議室（立川市曙町2-36-2）
- 3 議決権のある理事：8名、出席理事：7名  
出席者：座間直壯、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、平山恵三、堀渡、矢崎省三  
欠席者：清田義昭  
事務局：鬼倉正敏

### 4 報告及び協議事項

#### (1) 第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・2015年12月1日現在 正会員94名3団体 賛助会員41名1団体 計139名・団体
- ・会費未納者への督促を1月の通信送付に合わせて行う予定。

#### (2) 第2号議案 第24回多摩デポ講座・見学会について【報告】

- ・12月14日(月)午前10時～12時、一橋大学経済研究所資料室、附属社会科学統計情報センター資料室、一橋大学附属図書館の見学会を行った。受入側からの指示で、定員20人で募集。「多摩デポ通信36号」に紹介記事を掲載し、多摩の図書館にチラシ配布、他に「多摩むすびML」や「日本図書館協会メールマガジン」で広報、会員外を含め10名の応募があり、理事、事務局員と共に計17名で見学会を行った。以下参加者の感想。
  - ・ふだん見られない書庫もていねいに案内してもらえてよかった。
  - ・遠くからの現職図書館員の参加もあり、月曜開催はありがたい、との声があった。
  - ・多摩地域の図書館職員の参加が少ないのは残念。各地方の戦前の統計資料なども保存されており、実際に資料を見ることが大事だと思う。
  - ・デジタル化も必要だが、「現物」の持つ力を再認識した。
  - ・予算、職員の面でも恵まれている大学だが、書庫スペースの問題は大きいことも感じた。

#### (3) 第3号議案 NPO法の改正等に伴う定款変更の提案について【報告・協議】

- ・今年5月の年度総会後に届けに行った際に、既に改正されているNPO法に併せて、現在の定款の一部を改訂するようにと東京都から指示を受けている。細かな部分だが次の年度総会に諮って変更することにしたい。またこの機会に定款全文の点検を行ったが、一部、文言の整理をしたい箇所があるので、これも併せて提案する。
  - 現行の定款全文、変更案の新旧対照表を参照しながら説明した。今回の理事会では提案にとどめ、各理事も他に変更すべき点があるかどうかを見直したうえで、次回2月理事会で決定する。

#### (4) 第4号議案 (株)カーリルとの共同研究について【報告・協議】

- ・ISBNが付与された図書に限られるが、調布市の除籍候補データを使った検証作業を通して、カーリルと開発してきた多摩地域内の図書館での同一タイトルの所蔵冊数点検システムが使える目途がたった。
- ・現在の都立図書館の統合検索システムでは、検索エラーが発生しがちな自治体データがあること、システム変更後はしばらく不安定な結果が出やすいことなども分かってきた。検証の結果、カー

リルのシステムのエラーも見つかり、それは是正できた。

- ・次の議案で報告する館長会プロジェクト報告書の中でも、このシステムは、各図書館で除籍資料を決定する前に多摩地域の全所蔵冊数を点検する作業に使えるもの、との評価を受けた。
- ・現在は、各図書館での使いやすさを考え、どのような提供の仕方をするかの検討に入っている。
- ・共同研究はさらに続くが、この段階で会員内外に案内し、共同研究の中間報告会を開きたい。日時としては3月21日の(月)午後、カーリルのシステムのデモ、多摩デポからの経過説明、館長会プロジェクトからの報告等を含むプログラムで行いたい。

(5) 第5号議案 館長会プロジェクト報告書について【報告・協議】

- ・東京都市町村立図書館長協議会の資料保存問題プロジェクトが検討してきた報告書が、10月21日の館長会定例会で報告、了承された。この報告書に基づく次の動きに期待したい。

(6) 第6号議案 多摩デポ通信第37号について【報告・協議】

- ・1月下旬発行、紙面は以下を予定している。

<記事予定>

- ・年頭あいさつ(理事長)
  - ・カーリル共同研究の現状報告
  - ・共同研究中間発表会(3月21日)の案内と参加呼びかけ
  - ・館長会プロジェクト報告書の概要紹介
  - ・第24回多摩デポ講座(見学会)の感想
  - ・第25回多摩デポ講座の案内
- <同封資料> 次回講座チラシ、会費未納者へ督促のお知らせ

(7) 第7号議案 第25回多摩デポ講座の企画について【報告・協議】

- ・元総務大臣、片山善博氏を講師に、「図書館への期待、紙の本の意義、多摩デポの活動について」大きな講演会を実施する予定で打診してきたが、多忙で受けられないとお断りされた。
- ・片山氏は最近のTUTAYA図書館問題にふれ、「図書館は地域の知の拠点」と定義され、新聞等に盛んに意見を発表されている。今後、氏に余裕が生まれるようであれば、再度打診したい。
- ・今年度最後の多摩デポ講座(2016年2月~3月開催予定)には、福嶋聡氏(ジュンク堂書店、ナンバ店店主)を講師にお呼びしたい。
- ・「紙の本は減じるか」「出版売上と図書館の資料提供との関係」「図書館の資料保存」「書店のブックフェアの自由」の問題などについて語っていただき、親しく質疑を行いたい。

(8) 第8号議案 東京都に共同保存スペース提供を求める提案について【協議】

- ・建設中の都立多摩図書館(収容冊数285万冊)は、多摩地域の共同保存の場としても期待される。竣工までには残された時間は限られている。
- ・館長会プロジェクトの報告書やカーリルとの共同研究の進展などにより、資料保存の気運を高め、東京都へ提案する機会を図る。

(9) 情報交換

【共同保存図書館関連論文】

- ・シェアード・プリント：米国の大学図書館における冊子体資料の共有と保存 森石みどり 『情

報の科学と技術』2015年9月号 p386-391

堀理事が「多摩デポ」の取り組みを紹介した、「コレクション構築の現在」特集の一環で掲載されている論文。利用の少なくなった冊子体資料を共同保存する取り組みを「シェアード・プリント」と言うそうで、米国の大学での事例紹介と日本での実施検討の必要性が書かれている。筆者は大学図書館の実務者のようである。アカデミーコモンズ導入のためもあり各大学図書館の書架スペースが狭められる傾向の中、日本でもこの取り組みが必要であると説明されている。

- ・ 書庫の資料の保存と廃棄 田井郁久雄 『風』No.176 2015年12月5日 p1-2

前広島女学院大学准教授、元岡山市立図書館職員の田井氏が毎月発行している個人紙。図書館の書庫資料は利用率が落ちいずれ溢れていくものと軽視しがちである。書庫の資料には丁寧に注視すれば様々な出版物と内容が収録されており、のちの利用者に提供出来る貴重な情報があるのだと事例を挙げ、安易な民間委託で書庫の管理が損なわれていかないと注意を促している。

【読売新聞 多摩版コラム「原稿たま手箱」】

- ・ 読売新聞多摩版の「週刊たま手箱」というコラム欄の執筆準備中。

【全国図書館大会】

- ・ 日程は、10月15日（木）、17日（金）で行なわれた。

【図書館総合展】

- ・ 日程は、11月10日（火）、11日（水）、12日（木）で行なわれた。
- ・ 11日11時15分～12時、スピーカーズコーナーで堀は、『公共図書館の蔵書構築と共同保存事業－各館書庫からの除籍をどのように進めていくか？』の内容を発表したが、聴衆は10人未満。

【東京都多摩地域公立図書館大会】

- ・ 日程は2016年2月2日（火）、3日（水）、4日（木）
- ・ 座間理事長（「多摩地域の相互協力の歩み」 2/2 午前）、齊藤理事（2/4 午後 詳細未定）発表予定

- ★ 次回の理事会 2016年2月16日（火） 午後6時半 国分寺労政会館第2会議室（洋室）
- ☆ 次回の事務局会議 2015年12月21日（月） 午後7時 調布市たづくり みんなの広場
- ★ 共同研究の定例会 2016年1月16日（土） 午後7時 立川市 シビル2A

## 5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、平山恵三理事と堀渡理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2015年12月14日

議 長

議事録署名人

議事録署名人